

大阪・関西万博開催に向けた御意見

御所属 一般社団法人全日本伝統文化後継者育成支援協会 代表理事
御名前 木村 麻子 様

● 2025年の大阪・関西万博に何を期待しますか。

(是非すべきこと、また、するべきではないこと、後世に残すべきもの等)

(是非すべきこと)

①『観光インフラ・産業インフラ戦略の策定と整備』

- 2025年問題、人口激減後の社会構造上の問題や経済的課題を見据え、経済成長の可能性のある地域資源を生かした観光インフラの整備。
- 日本最高峰の技術や産業がより強い国際競争力を持つために必要な国家戦略の策定と特区や規制緩和などのインフラ整備。

②『世界の可能性と日本の価値を継ぎ、次世代が可能性と希望をもてる社会へ』

- 15歳以下の自殺率最多の日本。国際化社会の中で、日本が日本である為の価値をしっかりと守り、未来を担う次世代が日本の未来に希望を見出すことができるよう、自国のアイデンティティと国際化社会に無限大の可能性を感じる場を創出するべきと考えます。
- 日本の強みを生かし、世界で通用する為の人材育成。国際基準の理解と定着。

(するべきではないこと)

- 残すべきものや効果など、中長期ビジョンをしっかりと持たず大型予算を使う事業。

(後世に残すべきもの)

『2025年以降に必要な国際的社会インフラと未来へのメッセージ』

- 国際化社会に対応し、さらなる発展を生み出す社会基盤とインフラ整備。
- 『経験という資産、人類の幸福と発展、普遍的な価値』をメッセージとして後世に伝えるツールやシンボリックなもの。

2. 大阪・関西万博で見せるべきコンテンツは何でしょうか。

(例：最先端技術の実証、SDGs達成への貢献、ライフサイエンス分野との連携等)

①『世界人類の発展に寄与する“研究機関型の日本文化体験”コンテンツ』

- 空前の日本ブームである今、『WASYOKU』や『OMOTENASHI』に始まり、『SAMURAI』や『ZEN』など世界共通語にもなっているワードを活用し、“本場日本”の生活、嗜み、武道、空間、美意識などの精神性を含む文化体験型コンテンツを考案。(VRやARマッピングなどを活用)。
- 世界人類財産とも言える日本の伝統文化を、ただ体験してもらうだけではなく、楽しんでもらいながら万博の来場者の体験データを公開型で取得し、武道や茶道、日本舞踊や能などの伝統文化が脳科学的、心理学的にどのような影響や効果が得られるかなどの化学的検証を行い、その効果を用いた美や健康、医療セラピーや教育など、世界人類の幸福度の向上、進化発展に寄与するソースとすることを目的とした『研究機関型コンテンツ』を考案。
- 西洋のライフスタイルや教育機関、事業への導入などを目指した文化活用ソースを万博を機に造成しながら、普遍的な日本の価値とアイデンティティ、日本文化がSDGsそのものである

ことや人種を超えた文化の可能性を知的好奇心を満たしながら伝える。

②～大阪万博・瀬戸内リゾート化計画。IRの実現や更なるインバウンド誘致を想定し、大阪をハブとして広域な瀬戸内の陸・海・空を生かし、世界最高峰の国際リゾートのインフラ整備とSDGsVIP向けの観光コンテンツ考案～

- 米国「The New York Times」で“Setouchi Islands”（瀬戸内）が日本で唯一選出（第7位）。今、世界中から高い関心を集める瀬戸内。我が国の最大の内海として、大阪や兵庫を含む本州、四国及び九州によって囲まれ、700 有余に及ぶ島々と、7,230kmにも及ぶ長い海岸線を有する“瀬戸内”はまだ未開の地であり瀬戸内国際芸術祭の成功などにより我が国の観光資源としては非常にポテンシャルが高い地域です。しかしながら実際は、外国人観光客やVIP対応などにおいてのハード面、人材教育などのソフト面、食や海洋環境などへの配慮などSDGs的観点においても国際基準には至っておらず、すでにかえって日本のイメージを悪くするようなトラブル事例も多数報告されています。そこで瀬戸内海で繋がる大阪万博を機に、瀬戸内エリアをアジア最高峰のリゾートに引き上げる為に海、陸、空それぞれ豊富な地域資源を生かした観光コンテンツの考案、大阪（関西）を中心とした陸路、海路の交通インフラの整備や人材育成を行い、インバウンドを支える新たな土壌を整えることにより万博が日本に大きな観光資産と広域なハブを生み出すこととなる重要なプロジェクトになりえると考えています。

3. 会場計画及びインフラ整備について、新たなアイデアや御意見をお願いします。

（例：会場のデザイン、水面や緑地の利活用、待ち時間のない万博とするための手法、災害対策、暑さ対策等）

- 5箇所の『空』と呼ばれる大広場を世界5大陸、世界の縮図空間とするプロジェクションマッピングなどを用いマリーナベイサンズのようなIR環境をイメージさせる水面ショーなどのエンターテイメント企画。
- オールジャパンの観光PRと待ち時間によるフォローや顧客満足度向上・データ収集を目的とし、『万博を一緒に歩く、AIコンシェルジュアプリ』の考案を提案します。一人に一人、AIがコンシェルジュとして同行するサービスアプリを考案。顔認証で趣味趣向を分析しての提案や混雑状況のお知らせ、予約、グッズ購入などもでき、待ち時間に並んでいる時はVRなどを用い、47都道府県（オールジャパン）をドラえもんのどこでもドア的に散歩できる（興味を引くPRのみで、現地に行くことを誘導）。コンシェルジュが観光ガイドを務め、地方都市の観光PRや並んでいるコンテンツの動画、キャラクターAIでのチャットが楽しめ参加型を測ることができる。また、ダウンロード時や、コンテンツ参加後など折々にAIから質問形式でのアンケートによる動向調査データ収集など。
- 日本人が国際人としての中心である『自国文化』の本質を理解し、日本の強みを生かし、価値を担保しながら未来社会をを構想することがとても重要。真の国際人教育としての学びの機会が必要。

4. そのほか、御自由に御意見をお願いします。

- 日本文化の更なる発展と、日本の若者達が勇気と希望を持つきっかけとなる万博になって欲しいと願います。